

「ローカルメディアが伝えるまちの魅力」

その時代を生きるひと、まちの姿を生き生きと伝える
ローカルメディア。

昭和から令和へ、カタチは変わっても変わらない
編集者たちの「伝えたい」という想い。

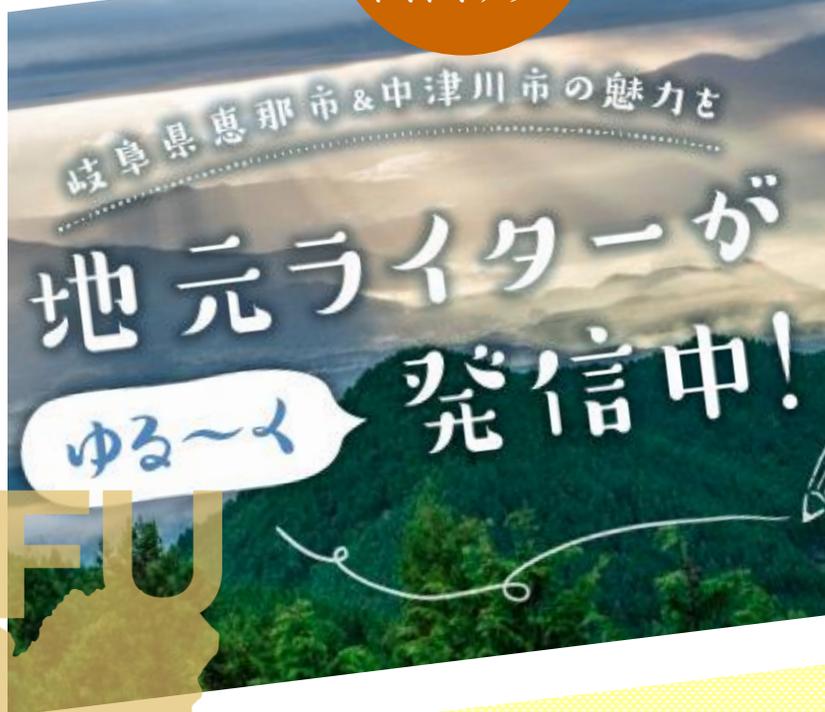
ローカルメディアから私たちのふるさと「岐阜」の
奥深さを見つめ直してみませんか。

11/3
(金・祝)
13:00~
15:00

参加費無料
定員100名
10/7~申込受付



<会場>
ぎふメディア
コスモス
ドキドキテラス



<登壇ゲスト>

三田村圭造さん
伊吹山麓の小冊子「ふもと」編集人・
岐阜のタウン誌「月刊ぎふ」「岐阜人」
などの元編集長



古井千景さん

恵那山麓ローカルメディア「おへマガ」
編集長

お問合せ：ぎふメディアコスモス事業課 E-mail: g-mediacosmos@city.gifu.gifu.jp Tel: 058-265-4101

主催：岐阜市、みんなの森 ぎふメディアコスモス自主事業実行委員会

イベント概要

まちに息づく文化、人にフォーカスし、その時代のリアルな姿を映し出すローカルメディア。長きにわたり数多くの岐阜のタウン誌づくりに携わってきた編集者と、Webマガジンで地域情報の掘り起こしに挑む若き編集者をゲストに迎え、ローカルメディアから地域の奥深さを見つめ直すトークイベントです。

タイムスケジュール

第1部 登壇ゲスト講演（13:00～14:30）

三田村圭造さん 「わが愛しのタウン誌たち」

古井千景さん 「世代を超えてローカルメディアで作る未来」

第2部 クロストーク（14:30～15:00）

ゲスト：三田村圭造さん、古井千景さん 進行：吉成信夫

登壇者紹介

ゲスト 三田村圭造さん



滋賀県米原市出身。1976年から2年半、カナダや米国などの日系人向け新聞「大陸時報」で記者を務める。帰国後は東京での出版社専属ライターを経て、タウン誌やフリーペーパーの道へ。45年の経歴のうち40年間を岐阜や滋賀で地域誌作りに力を注ぎ、「月刊ぎふ」や「岐阜人」などの多くの地域誌を担当。60代半ばで故郷の伊吹山の麓で地域誌「ふもと」を創刊し、現在に至るまで発刊を続けている。

ゲスト 古井千景さん



1996年生まれ。岐阜県中津川市出身、在住。名古屋市立大学人文社会学部現代社会学科卒業。大学在籍中に国際協力機関や中小・ベンチャー企業でのインターンシップ、NPO・学生団体等に参画。大学卒業後はフリーランスとして、東海地方で地域や社会に根付いた起業家・コミュニティの育成をおこなっている。恵那山麓ローカルメディアおへマガ2代目編集長。東海若手起業塾事務局長。

進行 吉成信夫



みんなの森 ぎふメディアコスモス総合プロデューサー。CIコンサルティング会社役員等を経て、1996年に宮沢賢治が足跡を残した岩手県に家族で移住。「石と賢治のミュージアム」構想立ち上げに奔走。岩手県葛巻町の廃校を活用したサステナブルスクール「森と風のがっこう」を開校。この間、県立児童館初代館長を7年間務めた。2015年に岐阜県へ移住。岐阜市立図書館館長を経て、2020年より現職。

申し込み

反対面のQRコードを読み込み、専用フォームからお申し込みいただくか、ぎふメディアコスモス1階総合案内へお申し込みください。（申込受付：10月7日から）

申込不要
観覧自由

<展示イベントのご案内>

三田村圭造さん編集の昭和末期から平成初期にかけての岐阜のタウン誌「月刊ぎふ」や「岐阜人」など貴重な資料を展示。ローカルメディアを手にとり、岐阜のまちの温故知新を感じることができます。トークイベントへのご参加とあわせてぜひご覧ください。

期間：2023年9月30日（土）～11月12日（日） 9:00～20:00

会場：ぎふメディアコスモス 2階 岐阜市立中央図書館 シビックプライドライブラリー